

令和5年3月23日

報道機関各位

吉川市政策室主幹

株式会社西武ライオンズと「連携協力に関する基本協定」を締結

市は、3月14日に、株式会社西武ライオンズと「連携協力に関する基本協定」を締結しました。

今般の協定は、市及び株式会社西武ライオンズが持つ資源を有効に活用し、地域社会の発展や住民福祉の向上などに寄与することを目的としたものです。

本締結により今後、市における「スポーツ振興」「地域の活性化」「子ども達の健全な育成」などの達成に向け、株式会社西武ライオンズと協働して各取組みを行ってまいります。

概要

日時 3月14日 午前10時～10時30分

場所 市役所（きよみ野1-1）

出席者 なかはら しげと 中原 恵人 市長

株式会社西武ライオンズ おくむら つよし 奥村 剛 代表取締役社長

協定項目

- スポーツ振興に関すること。
- 青少年の健全育成に関すること。
- 地域振興に関すること。
- その他第1条の目的を達成するために必要な事業に関すること。

中原 恵人 市長のコメント

この度は、西武ライオンズ様との連携協力に関する基本協定を締結できましたことを大変喜ばしく思います。

私自身、野球少年として育ち、小学生の頃、新たに誕生した「西武ライオンズ」のユニフォーム、マークのカッコ良さに皆で盛り上がり、中学生の時には日本シリーズの応援に球場へも足を運んだので、思い入れのある協定となります。

本市では、令和3年に「スポーツが持つ力で様々な課題を解決する」ことを理念として「吉川市スポーツ推進ビジョン」を定め、「する」「みる」「ささえる」といった様々な視点から、多くの市民がスポーツに取組み、参加できる機会の確保に努めるとともに、「市民・民間・行政の共働」の下、互いの連携を意識して横断

的にスポーツ推進を図ることを目指しているところです。

今回の協定の締結を機に、西武ライオンズ様と連携を図りながら、スポーツを通じて、さらなる「市民の幸福実感の向上」を目指してまいりたいと思います。

株式会社西武ライオンズ 奥村 剛 代表取締役社長のコメント

吉川市が当社のフレンドリーシティになっていただける事を大変うれしく、また心強く思います。

今年は埼玉県に本拠地を構えて45周年を迎える節目の年であり、長きにわたって地域の皆さまのあたたかいご声援があったためだと考えております。

2018年にコミュニティ活動のプロジェクト「L-FRIENDS」を立ち上げてから5年、「野球振興」「こども支援」「地域活性」「環境支援」を中心に積極的に取り組んでおりますが、今後はより一層地域の皆さまと関係性を強め、野球を通して埼玉県全体を活性化するための一翼を担う所存でございます。

本締結をきっかけに、ひとりでも多くの吉川市の住民のみなさまに、体を動かす事の楽しさや、スポーツの魅力、野球の魅力を実感していただきたいと考えております。

57番目のフレンドリーシティにちなみ背番号57 くろだ まさや 黒田 将矢 投手のコメント

吉川市の皆さま、こんにちは！埼玉西武ライオンズの黒田将矢です。

今回吉川市が、自分の背番号と同じ57番目のフレンドリーシティになると聞き、ご縁を感じています。フレンドリーシティをきっかけにライオンズと吉川市の交流が進み、チームのように一体になればうれしいです。

現在は一軍に向けてアピールできるよう、オープン戦で調整を続けています。吉川市の皆さまにベルーナドームの一軍のマウンドで活躍する僕をたくさん見ていただけるようにがんばります！



左から球団公式マスコット ライナ、奥村代表取締役社長、中原市長、レオ、吉川市イメージキャラクター なまりん



記念品として背番号702（なまずの語呂合わせ）のユニフォームをいただきました

この件に関するお問合せ先

- お問合せ：政策室 企画担当 ☎048・982・9445

記事提供：政策室 広聴広報担当 ☎048・982・5112